



# 校報 絆 (きずな)

紀の川市立安楽川小学校

〈「共育座談会」12月特別号〉

令和3年12月6日

〈合言葉〉「みんなでつくる みんなの“安小”」

文責:校長 原 寿宏

11月19日(金)、「みんなでつくるみんなの“安小”」を合言葉に、第2回「共育座談会」を開催しました。保護者の方10名、地域の方17名、本校教員17名に加え、市教委からも4名、計48名が参加。まず最初に、県教育庁生涯学習課の坂口なおみさんから、「みんなでつくるみんなの学校とは」と題し、その秘訣を解説いただきました。その後、橋本市家庭教育支援チーム「ヘスティア」のメンバー3名の進行のもと、8つのグループに分かれ、「子供たちの自己肯定感を高めるために」をテーマに“熟議”を開始。体操服を忘れ、友達に借りて授業を受けた男の子が、洗って返そうとお母さんをお願いする際の会話、2パターンを聞いて、話し合いを深めていきました。パターン1は、お母さんの言葉が、体操服を忘れたことへの叱責にのみ集中してしまい、結局、男の子は「洗って」とお願いできなかつたばかりか、「二度とお母さんなんかには相談するものか」と心の中でつぶやくというもの。パターン2は、お母さんが“傾聴”に努め、子供の気持ちを上手に引き出し、その上で、忘れ物をしないようにするにはどうしたらいいかを一緒に考えるというものでした。どちらがいいかは一目瞭然ですが、「つい、ちゃんと聴かずに責めてしまうよなあ」と皆さん反省しきりでした。

子供の自己肯定感を高めるための一助として、“傾聴”が重要だということに改めて気づかせてもらいました。

各班のまとめと、参加して下さった方々の感想などを紹介させていただき、みんなで「共育座談会」を共有したいと思います。(一部抜粋・順不同)

文字がばかり、びっしりで済みません。何とかすべてを盛り込みたくて…。



ここだけでもお読みください

## ◆ 地域としてできること

- ・「地域全体でどの子に対しても自分の子供(孫)のように愛し大切に育てていく」という気持ちを!
  - ・「学校で学び、地域で学び、そして子供から学ぶ」という姿勢を地域全体で共有する。
  - ・通学路で会った時には“あいさつ”をする。また、そうした風土となるよう働きかける。
  - ・見守りの際、「おはよう」だけでなく、時には世間話などを交え話しかけ、子供の様子を観察する。また、いけないことをしているときはその場で注意する。
  - ・「見守り」以外でも、子供を核に学校と地域が寄り添い繋がる機会を!
- (学校や子供に関われる授業のサポートや、準備段階から子供たちと一緒にを行うイベントを!)



## ◆ 家庭(親・家族)として心がけなければいけないこと

- ・子供が自分の気持ちを言えるまで待つ。そして、「聞く」ではなく、受容的に「聴く」姿勢で。
  - ・子供自身の意思(志)を引き出すような言葉がけに気をつける。
  - ・余裕がなくて、「ちょっと待って」と子供の話を遮り、後回しにしないようにする。
- (些細なことでもしっかり聴いてくれると、「自分のために時間をとってくれている」と安心する。)
- ・登校観察の際、オレンジ色のベストを着用していることで、子供たちは安心感をもっている。
- (「みんなで守る子供の安全」、保護者の責任・義務として、積極的に登校観察に参加しよう!)

## ◆ 学校・教員として取り組むべきこと

- ・日々の教育活動の中で、子供たちに失敗から学ばせる、“失敗OK”のメッセージを発し続ける。
  - ・そのことで、失敗してもいいから、何にでもチャレンジしようという気持ちを育み、達成感・成功体験を積ませる。励ましや共感の言葉がけに心がける。
  - ・子供たち自身のコミュニケーション力で問題解決できるよう支援する。
  - ・「安小応援団」の皆さんにご協力いただける場面を意識し、工夫する。
  - ・子供たち自身が「あらかわの歴史や産業」を学ぶための仕掛けが必要だ。[保護者の方からの提案]
- (地域カルタづくり。それをツールに遊びを通して楽しく学ぶ→教員も地域のことを知る)



## ◆ 「座談会」を通しての気づき・感想

- ・話を聴く、“傾聴”すること、“共感”することの大切さ。また、「聴く余裕をつくるためにはどうすればいいか」を考えるきっかけとなった(家事の分担とか)
- ・“認めてくれている”という気持ちを子供の心に育む。そうすれば親子の信頼もより深まる。

◆多様な考え方・意見を聞(聴)く機会をいただきました。◆色んな意見が聞けてよかったです。勉強になりました。◆今日、学び気づいたことを周囲の人に伝えたいと思います。◆年齢や性別の異なるいろんな方の意見を聞けて、また、話し合えてよかったです。◆子供の話を聴いてあげることが、子供の自己肯定感を上げることにつながるなんて考えたことがありませんでした。勉強になりました。◆傾聴することの大切さに改めて気づきました。「十四」の「目」と「心」で「聴」けるように頑張ります。◆子育ては終わっていますが、「傾聴」がどんな場面でも大切なことだと感じました。勉強になりました。◆もっと多くの保護者の方の参加があれば、さらに有意義になったのと思いました。◆この座談会で出た意見を学校運営協議会の議題として熟議してはどうでしょうか。◆コミュニケーションを取り、心で聴くということを心がけ、これからも子供たちが笑って元気に過ごせるようにしていきたいと思います。◆いろいろ勉強になりました。話を聞くことが大切だと思いました。楽しかったです。◆ヘスティアの皆さんのリードで、楽しく気軽にワークショップに参加できました。◆子供の話をしっかり聞けるよう、心に余裕をもって、子供たちに関わっていきたく思います。◆みんなで協力し合って子供たちのことを考えていこうと考える熱い人が、こんなにもいるということに再認識しました。「みんなでつくるみんなの“安小”」がどんなふうに進化していくのかが楽しみです。◆子供の意見をじっくり聴く力を親がもたないといけないと思いました。子育てを通して親も一緒に育っていこうとする姿勢が必要だと感じました。◆初めての参加でしたが、とても意義ある会でした。傾聴の大切さ、年齢を重ねても忘れてはいけないことです。◆子供たちとの関わり方について、ゆっくり考えていきたいと思います。◆もう一度子育てができれば、今日の気づきを生かせるのになと思いました。地域の子供たちのためにできることをしたいと思いました。◆人は本能的にマイナス面に目がいくようになっていきます。プラス面を見るためには練習が必要となりますが、「たとえ気の合わない人にも、一つは良いところがあるはず、良いところを探すように」と子供には話しています。人の話を聴くことの大切さを実感しました。◆日々追い立てられる育児の中で、余裕がない毎日でしたが、今日のこの座談会が自分を振り返る良い機会になりました。子供の話、聴きます！◆傾聴の姿勢の重要性、子供と過ごす時間を少しでも多くもつこと・大切にすることを、改めて学ばせていただく機会となりました。また、子供同士のコミュニケーションの中にも傾聴の姿勢が大切だということを教えてあげることも必要ではないかと思いました。◆知らないことがいっぱいあり、勉強できてよかったです。みんなで話し合うことがとても大切だということが分かりました。子供たちも私たち大人も日々成長、成長に上下はありません。「自分の力を自分で認めていける力」、「自分をダメな人間だと思わない、自分に誇りがもてること」、これが自己肯定感ですよ！◆自分自身も人の話を聴く力を付けていかなければいけないと思えます。今日から頑張ります！また、言うべき時に、言うべきことをきちんと伝えることが大切だと思えます。私も訓練したいと思えます。◆人への接し方の基本が分かりました。また、みなさんの熱意に感動しました。◆子供さんたちの健康面の話し合いを次回はしたいと思えます。◆子供も大人も心と時間のゆとりが必要・重要な時代ですが、世の中の大きなうねりが学校のゆとりを奪っているように思えます。決して「ゆとり」は悪ではないと思えます。◆郷土愛を育む「地域カルタ」などの取組みいいのではないのでしょうか。

◆「雰囲気」を感じ取ってください！◆



